

●発展形の組み合わせ提案とアドバイス  
製品の成り立ちだけみると、50シリーズの廉価版のように見えるが、実際に聴いてみると、独立した音を持った個性派だ。こちらの音の世界の方が好きという人もいるかもしれない。フルテックのプラグ類のなかではロジウムメッキのFI-11M-N1(R)やFI-11-N1(R)と重なる部分もあるので、組み合わせでの可能性もある。

●お薦めの用途と使いこなし  
アンプ類に使って、その濃密な世界を楽しめると感じた。一般的にパワーアンプの駆動力が上がるとスピーカーの低域のレンジは伸び、低音の鳴りも良くなるが、そういう働きが48系のセットからは感じられた。

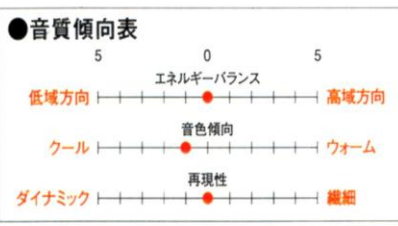
●お薦めの用途と使いこなし  
ブレードは純銅素材にロジウムメッキを施し、αプロセスリングしたもの。本体はナイロン+ガラスファイバー。なかには特殊セラミックパウダーとカーボンパウダーを封入し、ハウジングはステンレスだ。音は中域の存在感が高く、重心の低さ、全体的な濃密さに魅力を感じた。大きめの音像がマツシヴに定位する様が独自の世界を持っている。

低重心で濃密な音が魅力的  
音像は大きく厚めに定位する



**FI-48M(R)** ¥17,850 FURUTECH  
純銅(α導體)に非磁性ロジウムメッキのプラグ  
●サイズ: 40.2mm(本体長)×40.5mmφ×75.1mm(全長) ●その他の仕様は下と共通

**FI-48(R)** ¥17,850  
純銅(α導體)に非磁性ロジウムメッキのコネクター  
●電極部: 非磁性ロジウムメッキ純銅素材のα-導體 ●本体: ナイロン+ガラスファイバーにナノ単位の特殊セラミックパウダーとカーボンパウダーを一定比率で混入 ●ハウジング: 非磁性ステンレス ●ケーブル適応径: 6mm~20mmφ ●ワイヤー適応径: 10AWG / 5.5SQmm(MAX) ●サイズ: 44.0mm(本体長)×40.5mmφ×78.5mm(全長) ●定格: 15A / 125V、10A / 250V AC ●取り扱い: フルテック



●発展形の組み合わせ提案とアドバイス  
50系はアキュレートだが強い音でもあるので、別のプラグ等と組み合わせるとその製品の魅力なり、アラなりを聴かせてしまいそう。ひとつ惹かれるのは、同社の新製品のFI-48(R)等との組み合わせだ。50のアキュレートさに対して48系はより中域の存在感が高く、濃い音の個性派。どんな音が出てくるか興味津々だ。

●お薦めの用途と使いこなし  
何に使ってもいいが、最も明確に効果が出るのは、今回のテストでも使用しているパワーアンプへの投入だ。駆動力や音の押し出しも存分にありつつ、音楽性に沿った表現なので、ジャンルを問わず音楽に没頭できそう。

●お薦めの用途と使いこなし  
ブレードは純銅にロジウムメッキを施し、αプロセス処理。本体は樹脂の外側にステンレス合金のカバーがあり、さらにカーボンが巻いてある。音はノイズフロアが実に低く、描写はリアルでダイレクト。各楽器の鳴りは深々としている。音場空間もとても広く、正統派の臨場感だ。最低域から超高域までフラットな表現で、脚色なく音楽の流れそのままを伝える。

脚色のない深々とした臨場感  
リアルでダイレクトに描写する



**FI-50M(R)** ¥26,250 FURUTECH  
純銅素材α-導體のロジウムメッキ仕様高級プラグ  
●電極部: 純銅素材のα-導體 ●メッキ: ロジウムメッキ ●本体: ナイロン+ガラスファイバー ●ハウジング: ステンレス合金削り出し、内部は制振性のある特殊樹脂、外側をカーボンファイバー仕上げ ●ケーブル適応径: 6mm~20mmφ ●ワイヤー適応径: 10AWG / 5.5SQmm(MAX) ●サイズ: 40.0mm(本体長)×40.5mmφ×76.2mm(全長) ●定格: 15A / 125V

**FI-50(R)** ¥26,250  
純銅素材α-導體のロジウムメッキ仕様高級コネクター  
●電極部: 焼銅素材のα-導體 ●メッキ: ロジウムメッキ ●本体: 上と共通 ●ハウジング: 上と共通 ●ケーブル適応径: 6mm~20mmφ ●ワイヤー適応径: 10AWG / 5.5SQmm(MAX) ●サイズ: 44.0mm(本体長)×40.5mmφ×80.3mm(全長) ●定格: 15A / 125V、10A / 250V AC ●取り扱い: フルテック